

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

(氏名) 岡林 博

平成21年10月30日

上場会社名 日本精密株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7771 URL <a href="http://www.nihon-s.co.jp/">http://www.nihon-s.co.jp/</a>

代表者 (役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 田崎 政己 TEL 048-225-5311

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

( ) ===================================									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
22年3月期第2四半期	1,990	24.2	83		102		97		
21年3月期第2四半期	2,626		56		68		6		

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	7.78	
21年3月期第2四半期	0.63	

# (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,469	879	35.0	67.98
21年3月期	2,700	934	34.1	75.69

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 864百万円 21年3月期 919百万円

#### 2. 配当の状況

-: HD 97 17(7)										
	1株当たり配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭					
21年3月期		0.00		0.00	0.00					
22年3月期		0.00								
22年3月期				0.00	0.00					
(予想)				0.00	0.00					

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

# 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,475	10.6	37	73.9	10	93.3	11	73.4	0.91

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無 連結子会社であります株式会社アルマックは、平成21年6月30日の同社株主総会におきまして解散決議をしております。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
  - (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧下さい。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則·手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無 以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 12,923,999株 21年3月期 12,352,571株期末自己株式数 22年3月期第2四半期 201,749株 21年3月期 200,892株期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 12,583,624株 21年3月期第2四半期 10,259,437株

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

<sup>・</sup>業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関しましては、平成21年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年の秋以降、急速に悪化した景気は一部に景気底入れの兆しは見えるものの、雇用情勢は依然厳しく、設備投資も低迷しており、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりましたが、消費低迷による売上減少の影響は避けられず、結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は1,990,669千円(前年同期は2,626,804千円)、売上総利益は488,541千円(前年同期は704,475千円)、営業損失は83,222千円(前年同期は営業利益56,408千円)、経常損失は102,083千円(前年同期は経常利益68,660千円)、四半期純損失は97,957千円(前年同期は四半期純損失6,507千円)となりました。

各事業のセグメント別の売上高は次のとおりです。

時計バンド事業は1,148,421千円となり、前年同期比526,441千円減少しました。そのうち、スイスの高級時計メーカーへの売上は、ヨーロッパの景気後退に伴い、著しい減少があり555,938千円の減少となりました。国内大手メーカーからは、当社、ベトナム子会社及び中国の提携先との密接な協力に基づく開発提案力、コスト競争力、生産力、品質管理力等の総合力を評価され、香港支店でのG-Shock、MT-G、Baby-G、G-msモデル等の金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの受注増加があり、59,913千円の増加となりました。メガネフレーム事業は654,786千円となり、前年同期比98,586千円減少しました。国内の新規取引先の開拓を行ったものの、国内、ヨーロッパともに眼鏡市場の消費冷え込みの影響を受けました。その他事業は187,460千円となり、前年同期比11,107千円減少しました。

# 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,469,269千円となり、前連結会計年度末と比べ231,379千円減少しました。このうち、流動資産は、1,626,943千円となり、108,712千円減少しました。これは主に売上債権の増加28,013千円、商品及び製品の減少43,349千円、仕掛品の減少63,674千円、原材料及び貯蔵品の減少30,857千円などによるものです。固定資産は、842,325千円となり、122,667千円減少しました。これは主に、仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,842千円、固定資産の減価償却による減少57,285千円などによるものです。

負債合計は1,589,348千円となり、176,549千円減少しました。流動負債は1,388,267千円となり、157,800千円減少しました。これは主に仕入債務の減少89,748千円、短期借入金の減少30,668千円、1年内償還予定の社債40,000千円の減少などによるものです。固定負債は201,081千円となり、18,749千円減少しました。これは主に、社債の償還による減少40,000千円、転換社債型新株予約権付社債の転換による減少40,000千円、長期借入金の増加68,276千円などによるものです。

純資産は879,919千円となり、54,829千円減少しました。これは主に資本金の増加19,999千円、資本剰余金の増加20,000千円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少97,957千円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下資金という)は、前連結会計年度と比較して、153,367千円増加し342,837千円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は71,370千円となりました。減価償却費57,285千円の計上、売上債権の増加28,013千円、たな卸資産の増加137,882千円、また仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,842千円などがありました。一方、税金等調整前四半期純損失94,417千円(前連結累計期間は税金等調整前四半期純損失2,421千円)の計上、仕入債務89,748千円の減少などがありました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は18,585千円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出27,046千円、有形及び無形固定資産の売却による収入8,200千円などによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は61,906千円となりました。当第2四半期累計期間において、長期借入により100,000千円を調達する一方、短期借入金の減少と長期借入金の返済が合わせて77,471千円、社債80,000千円を償還しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月20日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳しくは平成21年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  - 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更該当事項はありません。

#### (追加情報)

退職給付引当金について

当社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成21年5月に退職給付制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

(単位:千円)

# 5.【四半期連結財務諸表】

### (1)【四半期連結貸借対照表】

前連結会計年度末に係る 当第2四半期連結会計期間末 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日) (平成21年3月31日) 資産の部 流動資産 現金及び預金 349,037 361,552 535,294 受取手形及び売掛金 507,281 商品及び製品 197,048 240,397 仕掛品 311,439 375,114 原材料及び貯蔵品 194,494 163,636 立替金 42,689 27,131 その他 33,212 35,992 貸倒引当金 5,415 6,308 流動資産合計 1,626,943 1,735,655 固定資産 有形固定資産 建物及び構築物 (純額) 217,520 218,512 機械装置及び運搬具(純額) 242,636 216,582 工具、器具及び備品(純額) 39.751 43.955 土地 123,614 123,614 建設仮勘定 1,278 有形固定資産合計 598,747 628,719 無形固定資産 借地権 171,248 173,924 その他 9,522 3,163 無形固定資産合計 177,087 180,770 投資その他の資産 投資有価証券 37,541 31,883 敷金及び保証金 125,819 21,976 その他 31,843 33,762 貸倒引当金 28,553 32,278 投資その他の資産合計 62,807 159,185 固定資産合計 842,325 964,992 資産合計 2,469,268 2,700,648

(単位:千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	383,833	473,582
短期借入金	683,755	714,423
1年内償還予定の社債	60,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	68,157	83,236
賞与引当金	20,415	16,994
未払法人税等	7,945	10,077
その他	164,160	147,755
流動負債合計	1,388,267	1,546,068
固定負債		
社債	-	40,000
転換社債型新株予約権付社債	-	40,000
長期借入金	111,699	43,423
繰延税金負債	156	233
退職給付引当金	79,889	82,251
その他	9,336	13,922
固定負債合計	201,081	219,830
負債合計	1,589,348	1,765,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,875	1,470,875
資本剰余金	1,473,980	1,453,980
利益剰余金	2,055,617	1,957,660
自己株式	40,212	40,169
株主資本合計	869,025	927,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,105	7,276
評価・換算差額等合計	4,105	7,276
新株予約権		
	15,000	15,000
純資産合計 2.信は20.5000円	879,919	934,749
負債純資産合計	2,469,268	2,700,648

# (2)【四半期連結損益計算書】 【第2四半期連結累計期間】

1	〔単	欱	千	ш	`	
١,	. <del></del>	177	- 1	IJ	,	

		(丰位・口))
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,626,804	1,990,669
売上原価	1,922,329	1,502,128
売上総利益	704,475	488,541
販売費及び一般管理費	648,066	571,763
営業利益又は営業損失( )	56,408	83,222
営業外収益		
受取利息	2,028	99
受取配当金	2,676	2,279
為替差益	11,985	-
金利スワップ評価益	6,075	-
助成金収入	-	5,214
維収入	13,050	4,320
営業外収益合計	35,816	11,913
営業外費用		
支払利息	22,457	9,502
為替差損	-	19,950
その他	1,107	1,320
営業外費用合計	23,564	30,774
経常利益又は経常損失()	68,660	102,083
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,178	4,244
前期損益修正益	11,960	13,463
固定資産売却益		8,200
特別利益合計	15,139	25,908
特別損失		
遅延損害金	-	14,035
固定資産除却損	102	397
減損損失	83,043	-
アスベスト除去費用	-	3,809
貸倒引当金繰入額	3,000	-
その他	74	-
特別損失合計	86,221	18,242
税金等調整前四半期純損失( )	2,421	94,417
法人税、住民税及び事業税	4,085	3,540
法人税等合計	4,085	3,540
四半期純損失( )	6,507	97,957
	·	·

74

86,221

18,063

1,968

1,968

20,032

\_

4,936

48,270

1,596

1,596

49,866

### 【第2四半期連結会計期間】

その他

法人税等合計

特別損失合計

四半期純損失()

税金等調整前四半期純損失()

法人税、住民税及び事業税

(単位:千円) 前第2四半期連結会計期間 当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日) 至 平成21年9月30日) 売上高 1,357,947 1,028,896 売上原価 973,475 794,952 売上総利益 384,472 233,944 販売費及び一般管理費 320,217 281,108 営業利益又は営業損失() 47,164 64,254 営業外収益 受取利息 1,034 35 受取配当金 973 1,196 為替差益 7,150 金利スワップ評価益 2,770 雑収入 2,387 1,558 営業外収益合計 14,539 2,567 営業外費用 支払利息 10.899 6.477 為替差損 10,154 その他 519 647 営業外費用合計 11,418 17,279 経常利益又は経常損失() 61,875 67,375 特別利益 固定資産売却益 8,200 貸倒引当金戻入額 781 前期損益修正益 10,341 特別利益合計 781 18,541 特別損失 固定資産除却損 102 343 アスベスト除去費用 3,809 減損損失 83,043 貸倒引当金繰入額 3,000 783

# (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u> </u>	<u> </u>
税金等調整前四半期純損失( )	2,421	94,417
減価償却費	58,352	57,285
のれん償却額	4,613	-
減損損失	83,043	
金利スワップ評価損益(は益)	6,075	_
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,565	4,618
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,599	2,362
遅延損害金	-	14,035
受取利息及び受取配当金	4,705	2,378
支払利息	22,457	9,502
為替差損益( は益)	2,258	4,593
売上債権の増減額(は増加)	45,784	28,013
たな卸資産の増減額(は増加)	38,987	137,882
敷金及び保証金の増減額(は増加)	-	103,842
仕入債務の増減額( は減少)	94,164	89,748
賞与引当金の増減額(は減少)	988	3,42
その他	13,149	30,723
小計	259,087	78,300
利息及び配当金の受取額	2,897	4,150
利息の支払額	13,684	5,465
法人税等の支払額	6,067	5,618
営業活動によるキャッシュ・フロー		
日来活動によるギャッシュ・ブロー 投資活動によるキャッシュ・フロー	242,233	71,370
	F 000	4 200
定期預金の預入による支出	5,000	1,200
定期預金の払戻による収入	25,000	- 27.04
有形及び無形固定資産の取得による支出 有形及び無形固定資産の売却による収入	44,938	27,04
	1 252	8,200
投資有価証券の取得による支出 貸付けによる支出	1,352	2,563
貸付金の回収による収入	3,300	4.00
	480	4,025
その他	19	- 40.50
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,092	18,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	128,127	30,668
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	86,518	46,803
社債の発行による収入	40,000	-
社債の償還による支出	80,000	80,000
設備関係割賦債務の返済による支出	4,207	4,39
株式の発行による収入	100,000	-
自己株式の取得による支出	30	43
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,883	61,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,258	4,593
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	51,998	13,714
現金及び現金同等物の期首残高	137,472	356,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	189,470	342,837

# (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### (5) セグメント情報

### 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高 (1) 外部顧客に対する 売上高 (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,674,862	753,373	198,568	2,626,804		2,626,804
計	1,674,862	753,373	198,568	2,626,804		2,626,804
営業利益又は営業損失( )	185,275	127,113	1,753	56,408		56,408

- (注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。
  - 2 各事業区分の主な製品
    - (1) 時計バンド事業.......チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品
    - (2) メガネフレーム事業......チタニウム製フルリムフレーム、チタニウム製ナイロールフレーム、ツーポイントメガネフレーム及びメガネフレーム用部品

# 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高 (1) 外部顧客に対する 売上高 (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,148,421	654,786	187,460	1,990,669		1,990,669
計	1,148,421	654,786	187,460	1,990,669		1,990,669
営業利益又は営業損失( )	7,698	80,502	4,978	83,222		83,222

- (注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。
  - 2 各事業区分の主な製品
    - (1) 時計バンド事業......チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品
    - (2) メガネフレーム事業......チタニウム製フレーム、チタニウムと異素材のコンポジットフレーム及びサングラス
    - (3) その他事業......携帯電話機用部品、釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

# 【所在地別セグメント情報】

# 前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

					(+12 + 113)
	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,850,516	776,287	2,626,804		2,626,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,631	827,814	878,445	(878,445)	
計	1,901,148	1,604,102	3,505,249	(878,445)	2,626,804
営業利益又は営業損失( )	71,496	127,929	56,433	25	56,408

- (注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
  - (1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。
  - (2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア......中国・タイ

# 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,165,409	825,259	1,990,669		1,990,669
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	82,922	359,499	442,421	(442,421)	
計	1,248,332	1,184,759	2,433,090	(442,421)	1,990,669
営業利益又は営業損失( )	114,955	31,297	83,658	435	83,222

- (注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
  - (1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。
  - (2) 各区分に属する主な国又は地域 アジア.....中国・ベトナム

### 【海外売上高】

# 前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

			( 1 I = + 1 1 3 )
	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	985,230	778,607	1,763,837
連結売上高			2,626,804
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	37.5	29.6	67.2

- (注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
  - 2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
    - (1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。
    - (2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ……スイス・ドイツ・フランス・スペイン アジア……中国・タイ

# 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計	
海外売上高	359,431	893,120	1,252,551	
連結売上高			1,990,669	
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	18.0	44.9	62.9	

- (注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
  - 2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
    - (1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。
    - (2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ……スイス・ドイツ・フランス・スペイン アジア……中国・韓国・タイ

### (6) 株主資本の著しい変動があった場合の注記

平成20年11月6日に発行いたしました第4回無担保転換社債型新株予約権付社債につきまして、当第2四半期連結累計期間において4個(571,428株)の権利行使が行われました。この結果、資本金が19,999千円、資本準備金が19,999千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,490,875千円、資本剰余金が1,473,980千円となっております。

### (7) 重要な後発事象

# (合弁会社の設立)

当社は、平成21年10月9日開催の取締役会において、韓国に合弁会社を設立することについて以下のとおり決議いたしました。

1. 設立の目的

メガネフレーム事業と応用品事業の韓国における市場確保及び拡大を目的とする合弁会社を 設立いたします。

2. 設立会社の概要

(1) 商号 株式会社NS村井

(2) 代表者 未定

(3) 所在地 大韓民国ソウル市(4) 設立時期 平成21年11月予定

(5) 事業の内容 メガネの企画開発・販売、応用品の販売(6) 資本金 3 億ウォン(日本円で23百万円相当)

(7) 株主構成 株式会社ジエンコ 33.3%

株式会社エムアンドエフシー 33.3%

日本精密株式会社 33.3%

# 6. 生産、受注及び販売の状況

# (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	
時計バンド事業	652,530	43.2	
メガネフレーム事業	111,652	31.7	
その他事業	144,706	12.5	
合計	908,888	38.5	

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
  - 2 金額は、販売価格によっております。
  - 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
時計バンド事業	961,068	36.8	799,940	30.5
メガネフレーム事業	685,365	12.5	235,506	+15.9
その他事業	193,979	8.9	46,013	39.5
合計	1,840,414	26.9	1,081,459	24.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
  - 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同四半期比(%)	
時計パンド事業	1,148,421	31.4	
メガネフレーム事業	654,786	13.1	
その他事業	187,460	5.6	
合計	1,990,669	24.2	

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
  - 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
18776	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO.,LTD.	811,241	30.9	255,302	12.82
カシオ計算機株式会社	146,038	5.6	146,143	7.3
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	302,523	11.5	419,871	21.1
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO.,LTD.	111,398	4.2	104,082	5.2
CASIO(THAILAND) CO.,LTD	202,262	7.7	152,039	7.6

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。